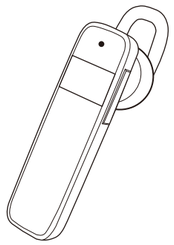
181010

SEIWA®
http://www.seiwa-c.co.jp
SHINC
Style of Interface to the Next Communication

取扱説明書B 保証書付き

ご使用前に必ずお読みください

※取り扱い説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。



接続機器名/	BTE12X
パスキー/	0000（ゼロを4つ）

BTE120・121・122
Bluetoothイヤホン

BTE 123
Bluetoothイヤホン

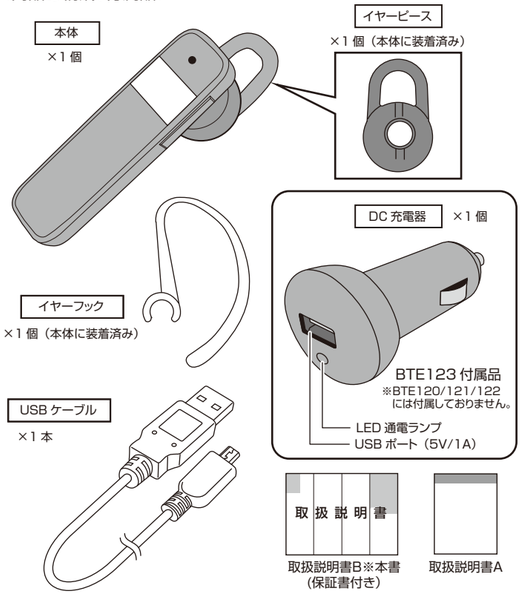
この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用の前に本書（取扱説明書）及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

はじめに

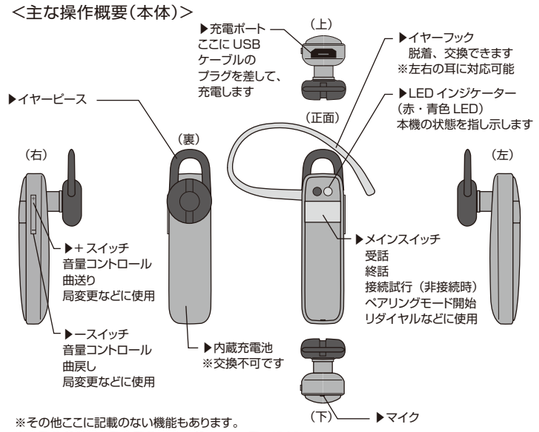
本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォンなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続機器を「接続機器」もしくは「携帯電話」と表記しております。

本製品の構成と名称、部品のはたらき

＜商品の構成、付属品＞



＜主な操作概要（本体）＞



※その他ここに記載のない機能もあります。
※全ての接続機器で全ての機能が使えるわけではありません。

本製品をご使用する前に行っていただく準備

本製品を使いになるまでの手順は以下のような流れになります。

【ご使用・取り付けの前に】

1. 開封と確認 ■商品の内容、付属品を確認願います
2. 製品を充電する ■製品をご使用になる前に充電してください
3. 本製品と携帯電話機をつなぐ ■本機を携帯電話機に登録して接続します

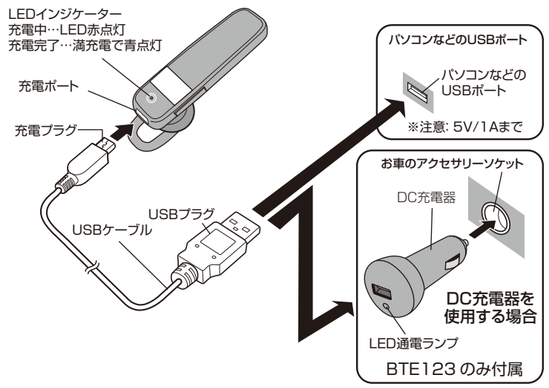
1. 本製品を開封し、内容物と製品に機能を損なうような問題がないかご確認ください

■万が一、欠落した部品があった場合や、輸送上の不慮の衝撃などが原因で破損などが認められた場合は、使用を中止し、本紙記載のお客様サポートセンターにご相談ください。

2. 本製品を充電する（BTE123のみDC充電器が付属しています）

⚠ 充電には、必ず付属品（USBケーブル、DC充電器）を使用してください。
付属品以外のケーブル、DC充電器、AC充電器などをご使用になった場合の故障、事故におきましては、当社ではその責任を負うことはできません。

※本製品は充電池を内蔵しています。工場出荷時は50～70%の充電量ですが、開封時は充電量が減っている場合もありますので、ご使用前に一度充電してお使いください。
※最初にエンジンOFFの状態で、アクセサリーソケットの中にホコリ、ゴミ、汚れ、液体の混入がないか、予めお確かめ頂いてから付属品のDC充電器をアクセサリーソケットに差し込んでください。
※パソコンのUSBポートなどや付属品のDC充電器のUSB充電ポートから充電する場合、USBポート内にもホコリ、ゴミ、汚れ、液体の混入がないか、予めお確かめください。
①**本製品ならびに接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるので、DC充電器を差し込む前にあらかじめお車のエンジンをかけてください。**
②本製品のDC充電器部分をお車のアクセサリーソケットが振動等で抜け落ちることのないよう奥までしっかり差し込んでください。
※通電するとDC充電器のLED通電ランプが青点灯し続けます。
※脱着する際には、必ずDC充電器プラグ部の根元をしっかり持ってアクセサリーソケットに対し必ず水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。
③DC充電器を差し込んだら、付属のケーブルのUSBプラグ（大きい方）をDC充電器のUSBポートに差し込んでください。
※USBプラグ/充電プラグをお車のアクセサリーソケット内に絶対に入れないでください。
④ケーブルのもう片方の充電プラグを本製品本体イヤホンの充電ポートに向きに気をつけてゆっくり差し込んでください。
※USBプラグ/充電プラグには差し込み方向があります。プラグ形状とUSBポート/充電ポートの形状をよく確認してから接続してください。プラグ類を外す際には、必ずプラグの根元をしっかり持って、水平にゆっくり抜いてください。
※充電ポートは小さくデリケートなので、差抜時に乱暴に扱わないでください。破損したままお使いになると、機器の故障や事故の原因になります。
⑤充電が開始されるとイヤホン本体のLEDインジケーターが赤く点灯します。満充電になったら青点灯に変わります。
※USBケーブルを本体に接続し充電すると電源が自動オフになります。充電プラグを外しメインスイッチを4秒長押しすると電源がオンになり自動接続します。



※充電池の劣化を防ぐため、充電が完了したら速やかにUSBケーブル/DC充電器を取り外してください。
※USBケーブルをつないだままご使用になるのはおやめください。必ずケーブルを外してご使用願います。
※ヘッドセットを長期間使用していなかったり、充電池が完全放電した状態では、LEDインジケーターが点灯するまで時間がかかる場合があります。（数分かかる場合もあります）

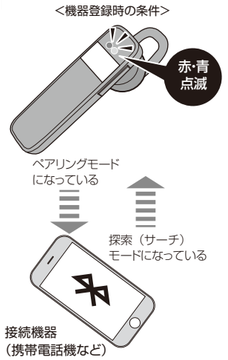
3. 本製品をBluetooth機能付き接続機器（携帯電話機など）に登録・接続します

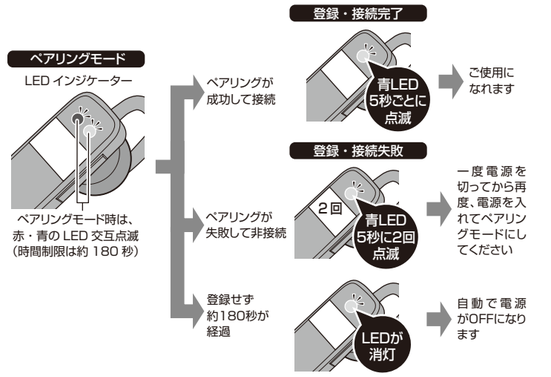
本製品をはじめてご使用になる場合、接続する携帯電話機とペアリングしてください。

⚠ 携帯電話機などとのペアリング（機器登録）から接続までの手順は、別紙の取扱説明書 A に詳しく記載しています。そちらも必ず参照願います。

【ペアリング（機器登録）～Bluetooth接続まで】

①本製品と携帯電話機の間に障害がないようなるべく近づけてください。（約15cmぐらい）
※携帯電話機に本製品以外の他のBluetooth機器が接続されている場合、一旦その機器との接続を切るか、その機器の電源を切ってください。
②本製品をペアリングモードにしてください。
※電源が切れた状態から[メインスイッチ]を8秒間長押ししてペアリングモードにしてください。LEDが赤と青の交互点滅を行い、ペアリングモードを開始します（約180秒間行います）。
③携帯電話機をBluetooth探索（サーチ）モードにして、本機の機種名（BTE12X）をリストアップさせます。
※携帯電話機の[設定]画面から[Bluetooth設定]を開き、[Bluetooth機能]をONにして機器の[探索（サーチ）]を選択してください。携帯電話機の機種により用語や手順が違いますので、別紙の取扱説明書Aと携帯電話機の取扱説明（マニュアル）も予めご確認願います。
④通常、数秒から数十秒で探索の結果が携帯電話機に表示されます。本機の製品品番がリストに表示されたら、タップなどの操作で選択してください。
※ペアリングしたのに本製品と再接続しない場合や、ペアリングモードに移行してしまった場合は、携帯電話機側のリストを開き、[BTE12X]を選べば接続します。
※選択後、パスキー（Bluetooth認証PINコード）を要求された場合、「0000（ゼロを4つ）」を入力します。
※数秒待つとペアリング（機器登録）が完了し、携帯電話機への機器登録が成功します。接続機器によっては、そのまま自動で接続されます。
※ペアリングが失敗（未接続）した場合、青LEDランプが5秒ごとに2回続けて青点滅になります。
※約180秒以内に登録しないと、LEDが消灯し電源がオフになります。
※機種登録を行った場合やペアリングモードが開始されない場合は、一度本製品の電源を切ってからメインスイッチを6秒間長押しして再度ペアリングモードにしてください。





⑤自動で接続されない場合、携帯電話機のリストに表示された[BTE12X]を選択やタップ操作を行い、接続状況を確認して携帯電話機側で接続を完了してください。
※携帯電話機側で本機のペアリング登録を削除していなければ、本機の電源を入れ直す度に自動接続を試行します（機器登録を8台以上行った場合や長い期間ご使用にならなかった場合などは、手動で再接続を行うか、ペアリング登録を再度行なってください）。
※一部の携帯電話機や設定、仕様によっては、自動で再接続しない場合がありますので、その場合は手動で携帯電話機から再度接続を行ってください。
※電源ONの時にメインスイッチを約5秒長押しすると電源がOFFになります。

製品仕様

1. 主な仕様諸元

本体項目	仕様
Bluetooth仕様	Version 5.0
Bluetooth対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP
Bluetooth無線周波数	2.4 GHz スペクトラム
使用可能距離	Class 2/見通し 10 m※
マルチペアリング機能	最大登録可能台数 8台
マルチポイント機能	対応（2台同時待ち受け）
連続通話最大時間	5時間 ※
連続待受可能時間	200時間 ※
内蔵バッテリー	リチウムポリマー電池
接続機器表示名	BTE120X
パスキーコード	0000（ゼロを4つ）
充電端子	microUSB TYPE-B
製品寸法・重量（本体、突起除く）	H49× W14× D11mm 約8g

付属品仕様項目	仕様
DC充電器コネクタ仕様（BTE123のみ）	アクセサリー電源 USB TYPE-A ポート
DC充電器定格入力	DC+12-24V（BTE123のみ）
DC充電器定格出力	DC+5V/1A（BTE123のみ）
ケーブルコネクタ仕様	USB TYPE-A プラグ microUSB TYPE-B プラグ
ケーブル露出長	約25cm

※環境温度の変化、通信状況、通信距離が長くなることで、通話時間や待機時間が極端に短くなることがあります。
※Bluetooth接続機器の仕様や性能によって、通信距離やバッテリー残量などは変化します。

⚠
●2.4GHz 帯を使用する無線 LAN（IEEE802.11g/d/n）との併用は、電波干渉の発生により、利用できない場合があります。
●Bluetooth 機器は相手側との仕様の違いにより、すべての機能の動作を保証するものではありません。

2. 主要操作一覧

＜主なLEDインジケーターの状況表示＞

5秒ごとに青点滅が継続	5秒ごと2回青点滅	青3回連続点滅	赤/青交互点滅	青 2秒ごとに点滅	赤3回連続点滅
接続中	未接続	電源ON	ペアリングモード	着信中	電源OFF

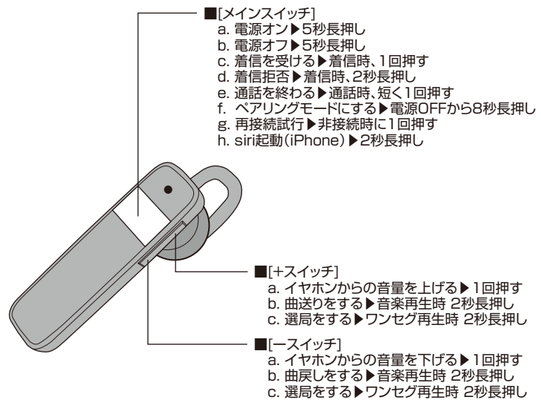
＜主な操作、電子音、LEDのはたらき＞

機能、状態	操作もしくは操作の結果	LED 表示	音声案内
電源 ON	メインスイッチを 5 秒長押し	青 3 回連続点滅	電源が入りました
電源 OFF	メインスイッチを 5 秒長押し	赤 3 回連続点滅	パワーオフ
ペアリングモード	電源 OFF の状態からメインスイッチ 8 秒長押し	赤 / 青交互点滅（約 180 秒）	ペアリングモード
ペアリング失敗	機器登録失敗した時	5 秒ごと青 2 回点滅	ペアリングできませんでした
接続	ペアリング（機種登録）が成功	青 2 回連続点滅	接続しました
待受け待機中	携帯電話機と接続している時	青 5 秒ごとに 1 回点滅が続く	
接続解除	手動で接続を解除したか、自動解除した時	青 2 回点滅	接続解除
通話音量調節	通話時、+、ースイッチで音量調整する	ー	ー
音楽再生/一時停止	待受け時、メインスイッチを 1 回押す	ー	ー
リダイヤル	待受け時、メインスイッチを短く 2 回押す	ー	ー
Siri起動(iPhone)	待受け時、メインスイッチを 2 秒長押し	ー	ー
着信		ー	ブーブー
受話	着信時、メインスイッチを 1 回押す	ー	ー
終話	通話中、メインスイッチを 1 回押す	ー	ブー
着信拒否	着信時、メインスイッチを 2 秒押す	ー	ー
リセット	※本製品にはリセット機能はありません	ー	ー

※スイッチを長く押す機能に関しては、Beep音が聞こえた時に指をすぐに離さないと、違う機能が起動したり、電源が切れてしまうのでご注意ください。
※本製品にはミュート機能はありません。
※上記は代表的な内容ですので、ご使用に差し支えない範囲で予告なく変更される場合があります。
※上記の操作、動作、LEDの点灯、電子音の発生は全ての接続機器に反映されるわけではありません。一部の機種では内容が変わる場合があります。
※HFP（ハンズフリープロファイル）が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してダイヤルし、その後ヘッドセットに通話を切り替えてください。

本製品のご使用方法

＜各スイッチの主な操作＞



① ペアリング（機種登録）、接続試行　※本書表面や取扱説明書Aもご参照願います

■ペアリング（機種登録）モードや接続をする場合のスイッチ操作は以下の通りです。
※ペアリングや接続に関しては、別紙の取扱説明書Aと取扱説明書B（本書）の表面に詳しい記載をしております。必ずそちらもご覧になっていただき、ご使用願います。

ペアリングモード（手動）	電源 OFF の状態からメインスイッチを 8 秒間押す

電源OFFの状態から[メインスイッチ]を「ペアリングモード」という音声が聞こえるまで押し続けてください▶赤・青交互点滅を開始しペリングモードに移行します。

▶電源 OFF の状態からメインスイッチを 8 秒間押す

音声案内「ペアリングモード」

■本体LEDの赤青点滅を確認した後、耳にイヤホンをセットして音声が聞こえるようにください。
※約8秒後「ペアリングモード」の音声が聞こえたら、指を離してください。
※ペアリングモード中、何も操作しないと180秒後に自動で停止、電源がOFFになります。

音声案内「ペアリング成功」

同時に青LEDが速く点滅します。

▶ 音声案内「接続しました」

ペアリング後に自動接続した状態では、本体の青LEDが5秒ごとに点滅が続きます。

▶ 音声案内「ペアリングできませんでした」

※180秒以内にペアリングを試行して成功しなかった場合は音声でお知らせします。

▶ 音声案内「パワーオフ」（180 秒間操作を何もしなかった場合）

※180秒以内に何も操作しなかった場合はペアリングモードが解除され自動で電源が切れます。再度機器登録を試したい場合は、メインスイッチを8秒押して、ペアリングモードにしてください。

② 電源を入れる

■電源切の状態からメインスイッチを5秒押し続けてから指を離すと電源が入ります。

電源を入れる	電源が入っていない状態で、メインスイッチを 5 秒押す

■[メインスイッチ] 電源切の状態から 5 秒押す▶電源が入ります（青色 3 回速い点滅）。
※「電源が入りました」という音声が聞こえたら指を離してください。

▶ 音声案内「電源が入りました」

注意！
そのまま「電源が入りました」のコール後、押し続けるとペアリングモードになりますのでご注意ください。

電源ONにしたい時は、「電源が入りました」のコールが鳴ったら（青LEDが3回点滅）指をすぐに離してください。

③ 電源を切る

■電源入の状態からメインスイッチを5秒押し続けると電源が切れます（赤色3回速い点滅）。

電源を切る	電源が入っている状態で、メインスイッチを 5 秒押す

▶ 音声案内「パワーオフ」

※携帯電話機と接続した状態のまま電源を切ると、「接続解除」と発声してから電源が切れる場合があります。

④ ハンズフリー機能を使う<1>～発信する

■携帯電話機の画面から発信先を表示させ、通常と同じ操作で発信してください。

電話をかける	待ち受け時、携帯電話機側で発信操作を行う

※携帯電話機側で発信操作を行った後、一部の携帯電話機では、本機にハンズフリー通話を受け渡しする為に携帯電話機側での操作が必要な場合があります。その場合は発信後に携帯電話機で次のような操作を行ってください。

通信事業者／端末機種など	操作もしくは操作の結果
iPhone	初期設定は自動接続。手動では音声出力先に本機「BTE120X」を選びます。
主な Android	初期設定は一部を除き自動接続。手動では Menu で「Bluetooth」を選択。
Android（SHARP の一部）	Menu で「Bluetooth」を選択。端末の Bluetooth メニュー設定で「常にハンズフリー」を選択すると、発信後、自動で本機に通話の受け渡しを行います。
docomo 端末機種	携帯電話機で発信後、[通話ボタン] を長押ししてください。
au 端末機種	携帯電話機で発信後、[EZ ボタン] を押してください。
SoftBank の端末機種	携帯電話機によって操作が異なります。端末の取扱説明書をご確認願います。

※上記はあくまで主な一例です。端末機種により、この上記の内容以外の方法もありますので、携帯電話機の取扱説明書をご確認願います。

⑤ ハンズフリー機能を使う<2>～着信時に電話を受ける、着信拒否する、終話する

電話を受ける	着信時、メインスイッチを 1 回押す

「プープー / 音がなります（通話開始）」

■着信中、本機の以下の操作で着信拒否を本機からの操作で選択できます。

着信拒否する	着信時、メインスイッチを 2 秒長押しする

■通話中、本機の操作で、終話を選択することができます。

終話を選択する	通話時、メインスイッチを 1 回押す

「プー / 音がなります（通話終了）」

⑥ ハンズフリー機能を使う<3>～イヤホンから聞こえる音量を調整する

■通話中、[+スイッチ]と[ースイッチ]の操作で、イヤホンから聞こえる相手の声の音量を調整できます。
※最大音量になった場合はBeep音でお知らせします。

音量の調整	「+（音量下げる）」、「ー（音量上げる）」スイッチを押す

⑦ ハンズフリー機能を使う<4>～最後に掛けた電話番号にもう一度発信する）

■待受中、本製品の操作だけで携帯電話機で最後に掛けた電話番号に発信（ラストナンバーリダイヤル）することができます。

ラストナンバーリダイヤル	「メインスイッチ」を連続して 2 回早く押す

※マルチポイント接続の場合、最後に通話した携帯電話機のみラストナンバーリダイヤルが可能です。
※携帯電話機の発信履歴が消去されるような操作を行うと、ラストナンバーリダイヤルは発信されません。

⑧ 音楽を聴く

■音楽再生可能な接続機種とつないで音楽を聴く場合のスイッチ操作は以下の通りです。
※接続機種の音楽再生をする場合は、相手側にもA2DPが搭載され、本製品との間でA2DP接続している事が必要です。手動の接続が必要な場合がありますので、接続機種の取扱説明書をご確認願います。
※再生、一時停止、曲送り、曲戻しなどの操作を行う為には、接続機種側にもAVRCP機能が必要です。

音楽の再生開始	待ち受け時、メインスイッチを 1 回押す
音楽の一時停止	音楽再生時、メインスイッチを 1 回押す
音楽の曲戻し	音楽再生時、「ー」スイッチを 1 回長押し
音楽の曲送り	音楽再生時、「+」スイッチを 1 回長押し
音量の調整	「+（音量上げる）」、「ー（音量下げる）」スイッチを押す

※接続機器の仕様やソフトウエアの仕様により、一部の操作が対応できない場合があります。

⑨ ワンセグを試聴する

■ワンセグ試聴が可能な機種とつないで音声を聴く場合のスイッチ操作は以下の通りです。
※本機はSCMS-T方式で保護された音楽やワンセグ放送の音声に対応しています。以下の操作を行う場合は、接続機器側もA2DP、AVRCPが対応して接続しており、SCMS-T方式にも対応している事が必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認願います。

ワンセグ音声の再生開始	ワンセグソフトを携帯電話機で起動
チャンネルの選択	「+」、「ー」スイッチをそれぞれ 2 秒間押す ※携帯電話機のリストに沿って受信局が変わります
音量の調整（音楽再生と同じ）	「+（音量上げる）」、「ー（音量下げる）」スイッチを短く押す

※接続機器の仕様やソフトウエアの仕様により、一部の操作が対応できない場合があります。

⑩ マルチポイント（携帯電話機2台同時待ち受け）

■本製品は機器登録した2台の携帯電話機との同時待ち受けが可能です。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらの携帯電話に着信があっても、本製品1台を操作して着信を受けたりハンズフリー会話をすることができます。
※Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話（一部のau携帯電話など）はマルチポイント接続できない場合があります。また、再接続メニューがない携帯電話はマルチポイント接続2台のうち1台として使用できます。この場合、ペアリングは2台目にしてください。
※携帯電話機やOSのバージョンによってはマルチポイント接続できなかったり、マルチポイント接続時の機能が制限される場合があります。
●2台の携帯電話をペアリングする場合は、次の表の手順でペアリングしてください。

	1 台目に接続したい携帯電話機の操作手順	2 台目に接続したい携帯電話機の操作手順
1	通常と同じように 1 台目をペアリングする	Bluetooth 機能を OFF にしておく
	▼	▼
2	一度、Bluetooth 機能を OFF にする	（Bluetooth 機能は OFF にしたまま）
	▼	▼※BTE12X を手動でペアリングモードにする
3	（Bluetooth 機能は OFF にしたまま）	Bluetooth 機能を ON にする
	▼	▼
4	（Bluetooth 機能は OFF にしたまま）	探索（サーチ）モードにする
	▼	▼
5	（Bluetooth 機能は OFF にしたまま）	ペアリングを完了して BTE12X と接続
	▼	▼
6	Bluetooth 機能を OFF にする	Bluetooth 機能を OFF にする
	▼	▼
7	Bluetooth 機能を ON。BTE12X と 1 台目として接続	（Bluetooth 機能は OFF にしたまま）
	▼	▼
8	接続中	Bluetooth 機能を ON。2 台目として接続

■マルチポイント接続した状態でイヤホンの電源をオフにした場合、イヤホンと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は再度設定してください。
※マルチペアリング後、イヤホンの電源を入れ直した際は、2台の携帯電話機のBluetooth機能を一度切って、再度入れ直す順番を調整する事で、接続順を決めてください。
※マルチポイントでのA2DPを使った音楽データ再生は1台のみ有効です。

⑪ 通信可能距離から外に離れてしまった場合

①接続中の携帯電話が機器の通信範囲（5～10m）から離れた場合、接続（リンク）が切断します。
②約3分以内に通信範囲に戻れば、自動で再接続を試行します。
※接続機種によっては、自動で戻らない場合があります。その場合は、メインスイッチを1回押してください。それでも戻らなかったりリンクも外れてしまった場合は、携帯電話機側の接続機器画面で本機をリストから選んで再接続してください。
③離れたまま連続で20分が経過すると自動で電源が切れます。この場合はその後、10m以内に戻った時に電源を入れてから携帯電話機側の操作で再接続を行ってください。
④携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、自動で再接続するか、メインスイッチを1回押すと手動で再接続を試みます。

取り扱い上の注意

●以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
●警告・注意に従われない場合など、誤った使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	してはいけない禁止事項を示します。	必ず実行していただく指示となります。

⚠警告　ここに記載された事項を無視してお使いになると、使用者が死亡または障害を負ったり、物的損害を被る危険性があります。

●本製品を火中に投下したり火元の近くでご使用になったり、充電しないでください。
爆発や破裂によって、重大な事故の原因になります。

●本製品の使用温度は0～40℃。保管温度は－10～50℃です。それ以外の環境でのご使用、保管はお止めください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

●車を運転中での本製品並びに接続機器の操作は絶対にお止めください。また、工事現場の近く、駅のホームなどの交通機関など、危険な場所では本製品のご使用を中止してください。
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取扱い、USBケーブルの抜き差し、DC充電器の操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。
本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐停車してからおこなってください。

●本製品を濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。
水分にさらされたり内部に水が侵入したままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因となります。また、本体、特に端子やバッテリー内が濡れた場合は、乾いた布で水を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。

●分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、本体やDC充電器を分解・切断しての直接配線、傷がついた状態でのご使用、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。

●付属のDC充電器は、DC12/24Vのマイナスアース車で使用してください。（BTE123）
指定外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。
付属のDC充電器は自動車用です。お車のアクセサリーソケット電源以外でのご使用はおやめください。
また、DC充電器をご使用する時には、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

●小さなお子様（乳幼児）やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

●電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所（病院、交通機関、一部の工事現場など）では、各施設の指示に従ってヘッドセットの電源をオフにしてください。

●本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

⚠注意　ここに記載された事項を無視してお使いになると、けがをしたり、物的損害を被る危険性があります。

●お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

●クリーニングするときにアルコールや研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。
傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。汚れが付着した場合は、乾いた布でお拭きください。

●DC充電器が故障した際には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認してください。（BTE123のみ）
車の機能（ヘッドライト、空冷ファンなど）に支障がないことを確認してください。

●DC充電器の接続は確実におこなってください。（BTE123のみ）
使用される前に、DC充電器がお車のアクセサリーソケットに奥まで確実に差し込まれているかご確認ください。また走行中にも振動によりDC充電器が外れることがあります。接触不良の状態で使用した場合、DC充電器やお車のヒューズ、アクセサリーソケット破損の原因になります。

●付属しているケーブルやDC充電器以外で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

困った時は…

●故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確めください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法
■携帯電話で検索（サーチ）しても本機の機種名「BTE12X」が表示されない
■ペアリングは完了したが接続できていない
■ペアリング済みの携帯電話が再接続（自動再接続）できない
■ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。
①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。※リセットをするとより確実です。
②本機の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから本機の機種名「BTE12X」を削除し、再度ペアリングしてください。
それでも解消されない場合は、携帯電話機のリセットで解消される場合があります。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	メインスイッチを押して音声案内が始まったらすぐに指を離してください。充電も確認願います。
電源をオンにすると赤/青交互点滅になる	本機がどの携帯電話ともペアリングされていない状態（お買い求め直後や、リセット直後の状態）では、電源をオンにすると、自動的にペアリング待機モードになります。
ペアリングモードにならない ペアリングができない	周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度試してください。 携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認いただき、可能であれば他の携帯電話（適合機種）で一度ペアリングをお試しください。 ※メインスイチを押す時間が短い可能性があります。
パスキー（PIN）がわからない	本製品のパスキーは「0000（ゼロを4つ）」です。
通話、受信ができない	携帯電話の電源とBluetooth機能がオフになっていませんか?HFPで接続がされているか、携帯電話機の設定画面をご確認ください。 一部の携帯電話機（SHARP製など）では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながらない設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定にしてください。 着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押してすぐに離してください。
通話中にノイズが聞こえる 通話中に音がとぎれる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接触している場合や、携帯電話の電波が混線しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。 携帯電話をズボンの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話と本製品本体との間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。 自動ドアや電子レンジ、2.4GHz帯周囲の電波を発信する機材が近くにあったり、工業設備、アンテナ施設などが近くで稼働している場合、多くの無線機器が使われている場所などでは、電波の干渉を受け、接続が解除されたり、ノイズが入ったり、音が飛んだりする場合があります。
音が聞こえない 着信音が聞こえない	Bluetooth機器で音量調整の操作をしていなくても、携帯電話機側で調整した場合はそちらの音量レベルが優先されます。接続機器側の操作状況もご確認ください。 通話中にメインスイッチを2回押しすると、通話が携帯電話に切り替わり、イヤホンから音声が聞こえなくなります。携帯電話で操作を行って接続しなおしてください。
本機の操作で発信ダイヤルできない	本機で可能な発信機能は、ラストナンバーリダイヤル（一番最後に発信した番号へのリダイヤル）のみとなります※メインスイッチを短く2回押すと自動発信します。
リダイヤルできない	HFP（ハンズフリープロファイル）が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。 HSP（ヘッドセットプロファイル）で接続している可能性があります。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない 携帯電話との接続（リンク）切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください（※ペアリングではありません）。 メインスイッチを1回押すと、自動接続を再試行して接続できる場合があります。
ワンセグの音声や音楽が聞こえない	携帯電話機側がSCMS-T対応かどうかご確認ください。携帯電話機が対応していない場合、ワンセグ放送は聞けません。 ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続ができているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
パソコンと接続したい	パソコン側のBluetooth機器がHSP（ヘッドセットプロファイル）に対応していれば接続とご使用は可能ですが、相互接続はOSやソフトウエアなどの互換性によることから保証しておりません。また、パソコンとの接続に関するサポートは一切行っておりません。
SNS（LINEなど）や動画のサイトの音声が聞こえない	携帯電話機で試聴可能なLINEや動画サイトの音声データは、APPやソフトウエアの仕様に依存するため、今迄使えたものがアップデートやアップデートにより聞こえなくなったり、操作ができなくなる場合があります。サポートに付いては一切行なっておりません。
DC充電器が破損・紛失した（BTE123のみです）	保証期間内の初期不具合に関しては修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替え品の提供などはできませんのでご了承ください。 また、同梱品以外のDCやAC充電器、二次電池充電器をご使用になった場合の故障、不具合に関しては、当社では一切の責任を負えない事をご了承願います。
イヤホンがDC充電器で充電できない（BTE123のみです）	DC充電器がお車のアクセサリーソケットに確実に差し込まれているか確認してください。 お車のエンジンがかかっている（またはACC）か確認してください。 お車やUSBポートからの過電力の流入により、DC充電器内の保護回路が働き内蔵ヒューズが切れている可能性があります。本製品付属のDC充電器のヒューズの交換はできません。本製品をお買い求めになったお店で取り寄せが可能ですので、必要に応じてお買い求めください。
マルチポイント接続ができない	一部の携帯電話などのBluetooth機器との再接続メニューがない機種同士は、本製品ではマルチポイント接続ができません。
マルチポイント接続中着信音が聞こえない	マルチポイント接続している2台のうち、1台の携帯電話で通話中は、別の携帯電話に着信があっても着信音ではなくビープ音が聞こえます。 →「音が聞こえない、着信音が聞こえない」の項目もご確認ください。
通話/スタンバイ時間が短くなってきた	内蔵充電池は消耗品です。長期間の使用（充電と放電の繰り返し）により、通話時間/スタンバイ時間は少しずつ短くなります。充分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電池の寿命です。充電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。

発売元
株式会社 セイワ　〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地
セイワホームページのご案内（右のQRコードでもOK）
適合情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひご覧ください。
http://www.seiwa-c.co.jp
お客様サポートセンター（裏面記載のトラブルシューティングで解決できないとき）
お客様サポートセンター…☎0570(039)710
受付時間/AM10:00～PM5:30（土曜・日曜・祝日除く）
〒273-0023 千葉県船橋市南海神1-2-5